



さあ 祭りだ!
(竹迫観音祭り)

きずな

合志市 議会だより 第22号

2011年6月定例会

- 新体制紹介…………… 2~4
- 議会の動き…………… 5
- 平成23年度補正予算、請願・陳情、人事
…………… 6~7
- 委員会報告…………… 8~9
- 賛否表…………… 10
- 一般質問 …………… 11~17



5 月
臨時会

議会新体制 21人でスタート

議長に池永幸生議員、副議長に島田敏春議員

4月24日に執行された市議会議員選挙で21人が当選しました。5月10日に改選後の初議会を開催し、議長や副議長の選挙、常任委員会委員等の選任を行い、新しい体制がスタートしました。

議長・副議長あいさつ



議長
池永 幸生



副議長
島田 敏春

市民の皆さまには、平素より市行政ならびに市議会活動に対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今議会より、議員定数を21議席に減少しての、合併後2回目の選挙でございます。

無投票という結果を真摯に受け止め、議員一同、市民の皆さまの安心・安全な暮らしの実現。そして合志市の発展に努力する所存であります。

そのような中、5月臨時会において議員各位のご推挙を得て議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、改めてその職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。また今回は開かれた議会を念頭に議長、副議長ともに立候補制を取り議員各位に立候補表明を経て、また参観者を受け入れての選挙となりました。

さて、3月11日に発生しました東日本大震災により、東北、関東地方は未曾有の大災害に見舞われました。この惨状は国民として同情にたえない気持ちであります。一日も早い復興を心より願うものです。

未来輝く産業、定住拠点都市。そして子育て支援日本一を目指し、ちづくり実現のため、しっかりとした財政基盤を確立し行政が掲げている26施策を確実に推進、評価していくことが議会に求められています。

議会といたしましても、議会の責務を果たせるように全議員一丸となり開かれた議会づくり、そして情報の発信に努め市政の発展に力を尽くしてまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。



産業建設常任委員会

●所管の範囲

- ・産業振興部（農政課、商工振興課）
- ・都市建設部（建設課、都市計画課）
- ・水道局（上下水道課）
- ・農業委員会事務局



後列 松本龍一 木村祐一
前列 ○今村直登 ◎濱口正暁 坂本早苗

総務常任委員会



後列 東 孝助 西嶋隆博
前列 ○神田公司 ◎木場田孝幸 島田敏春

●所管の範囲

- ・総務部（総務課、財政課）
- ・政策部（まちづくり戦略室、企画課）
- ・市民部（市民課、税務課、環境衛生課）
- ・会計課
- ・選挙管理委員会事務局
- ・監査委員事務局
- ・他の常任委員会の所管に属さない事務

文教常任委員会

●所管の範囲

- ・教育委員会（学校教育課、生涯学習課、
人権啓発教育課）



後列 濱元幸一郎 吉永健司
前列 丸内三千代 ◎松井美津子 ○尾方洋直

健康福祉常任委員会



後列 後藤修一 上田欣也
前列 坂本武人 ◎来海恵子 ○青木照美

●所管の範囲

- ・健康福祉部（福祉課、子育て支援課、
高齢者支援課、健康づくり推進課）
- ・福祉事務所

◎は委員長、○は副委員長

議会広報調査特別委員会

委員長 島田 敏 春
副委員長 後藤 修 一
委員 濱元 幸一郎
委員 松本 龍 一
委員 西 巖 隆 博



●担当する事項

市民へ議会情報を分かりやすく知らせるための議会だよりの編集、発行に関する
こと

議会運営委員会

委員長 吉永 健 司
副委員長 木村 祐 一
委員 島田 敏 春
委員 松井 美津子
委員 木場田 孝 幸
委員 来海 恵 子
委員 坂本 武 人
委員 濱口 正 暁



●担当する事項

- * 議会運営に関すること
(会期日程、一般質問、陳情・請願等の
取り扱いなど)
- * 議会の規則、委員会の条例等に関する
こと
- * 議長の諮問に関すること

一部事務組合等の議会議員

- | | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| ・菊池広域連合 | 池永 幸生 | 島田 敏春 | 来海 恵子 | 吉永 健司 |
| ・菊池養生園保健組合 | 木村 祐一 | 松井美津子 | 尾方 洋直 | 青木 照美 |
| ・菊池環境保全組合 | 木場田孝幸 | 坂本 武人 | | |

開かれた議会を目指して！ 議会活性化調査研究特別委員会を設置



合志市議会は「議会の活性化、開かれた議会」を目指して議会活性化調査研究特別委員会を設置しました。

特別委員会では、全議員参加のもと調査・研究をおこない、市民の期待に応える議会づくりにとりくみます。

議会基本条例について

その他(議会の活性化等について)

6月28日の定例会最終日、委員長、副委員長が選任されました。

委員長 木村 祐一

副委員長 青木 照美



議会の動き

(4月～6月)

【4月】

- 8日 議会広報調査特別委員会
- 20日 議会広報調査特別委員会
- 26日 議会広報調査特別委員会
- 28日 議会広報調査特別委員会

【5月】

- 10日 合志市議会第2回臨時会
- 18日 議会運営委員会
- 30日 第245回熊本県市議会議長会(菊池市)
- 31日 議会運営委員会

【6月】

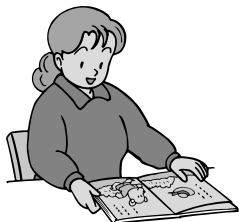
- 2日 第86回九州市議会議長会定期総会(北九州市)
- 10日 第2回(6月)定例会、議会運営委員会、議会全員協議会
- 14日 第246回熊本県市議会議長会(東京都)
- 15日 全国市議会議長会第87回定期総会(東京都)



！ 6月定例会

一般会計補正予算

補正額 2,327万7千円
総額 166億8,627万7千円



主なもの



アニメ声優朗読会委託 30万円
農地・水保全管理支払負担金 506万円
理科支援員配置事業 27万円
合志中、西合志南中、西合志中
改修事業 325万5千円

合志市公共下水道塩浸川浄化センター 建設工事委託に関する協定の締結

1. 協定の目的 合志市下水道の整備に関し、事業の一部の施行を委託することによりその促進を図り、もって生活環境の改善と公共用水域の水質の保全に資する。
2. 工事箇所 合志市栄1447番地1
3. 協定金額 2億6,260万円
4. 協定の相手方 東京都新宿区四谷3丁目3番1号
日本下水道事業団
代表者 理事長 曾小川 久貴

上下水道料金の徴収等を民間委託

今回の6月定例会では、合志市水道事業会計補正予算（第1号）が提案され、上下水道料金の徴収等の業務を民間委託することになりました。
期間は平成24年度から28年度までの5年間。

6月定例会は6月10日から28日までの19日間の会期で開催しました。
一般会計など補正予算関係4件、合志市教育委員会委員など人事案件として同意3件、諮問2件、そのほか議案・報告など併せて合計14件、追加議案として議案1件が上程されました。
請願・陳情については、5件を審議しました。

執行部提出案件は全議案が可決されました。また、請願4件が継続審査となり、陳情1件が採択となりました。
なお、議員提出議案として「公共学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書」ほか5件が提出され、全6件が可決されました。
一般質問は14人が市政に関して質問しました。

平成23年度第2回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
6	10	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	16	木	本会議	質疑、委員会付託
	17	金	常任委員会	付託事件の審査
	20	月		
	22	水	本会議	一般質問
	23	木		
	24	金		
	28	火	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決)

改選後初の定例会を開催

請願・陳情

建設に働く仲間と地域経済を救うルール
づくりに関する請願

請願者 熊本県建築労働組合菊鹿支部
西合志分会会長 志賀 光宏
合志分会会長 高水 静人 他561名

継続

自治体の発注する一般競争入札適用金額の引き上げ、地元業者への優先的な発注、公契約条例の制定を求めています。

弁天山頂に国旗掲揚台の設置を求める請願

請願者 合志市に日の丸を掲げよう合志市民の会
代表 美作 浩 他21名

継続

弁天山頂に国旗掲揚台を設置するよう求めています。

合志市中小企業等振興条例の施行に伴う請願

請願者 合志市建設業協会 会長 塚本 昭廣

継続

入札制度の改善、採算性を度外視した低価格による落札防止、工事の適正な工期を考慮すること等を求めています。

黒石新開線の歩道拡幅に関する請願

請願者 新開区長 鎌田 典子 他13名

継続

通学路になっているが、歩道幅が狭く児童が車道にはみ出す等危険。歩行者の安全確保のために、歩道の拡幅工事を求めています。

主要地方道大津植木線バイパス道路及び御代志交差点改良の早期整備を求める要望書

陳情者 合志市区長連絡協議会
会長 森下 孝幸 他7名

採択

長年の地域住民の願いである大津植木線バイパス建設の早期整備と、恒常的な交通渋滞が発生している御代志交差点の改良を求める陳情です。

議員提出議案

公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

可決

拡大生産者責任(EPR)とテシポット制度の法制化を求める意見書

可決

地域公共交通の維持・再生・活性化の基礎となる交通基本法の早期制定を求める意見書

可決

東日本大震災の被災地において公務で死亡した消防団員の遺族への弔慰金の交付等に関する国の財政支援を求める意見書

可決

その他2件

人事案件

教育委員会委員に同意

たか み ひろ ふさ
高見 博 英氏(栄)

合志市固定資産評価審査委員に同意

ふる わ けん し
古 和 賢 二氏(須屋)
か い さと こ
甲 斐 聖 子氏(幾久富)

人権擁護委員候補者に推薦

ざわ だ ひろ こ
澤 田 弘 子氏(幾久富)
なが お たかし
長 尾 隆氏(須屋)

産業建設常任委員会

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(農政課)

問 中学校給食用牛乳の50CC増量で飲み残しのデータが取れないか。

答 計量方法について給食センターとも相談して子供達にアンケートでデータをとるようにした。

(商工振興課)

問 ユーパレス弁天大規模改修検討委員会はどのような項目を検討し、また検討期間はどれ位か。

答 施設の利便性を向上させるための改修、更にスマートインターチェンジの開通を見越して、よりお客を集められるような施設への

平成23年度合志市下水道特別 会計補正予算について

問 人員減による仕事上の問題は
ないか。

答 この3か月異動後のメンバーでやりくりをして今は支障がない。

平成23年度合志市水道事業 会計補正予算について

問 債務負担行為として、上下水道料金徴収等を業務委託するとな

改修を目的に検討する。また検討期間は7月～11月とし、物産館・レストランの収益性、利便性、更に耐震関係についても検討を進める。

問 っているが削減効果はどれ位か。
答 年間約400万円程度を試算し、委託先も総合評価方式を取り入れて、コストだけでなく品質やサービス等の業務も見えて決定して行く。

問 御代志配水池の増設規模は。
答 面積的には3487㎡、配水



御代志配水池増設予定地

合志市道路線の認定について

タンク容量は3000㎡を計画している。

開発等により新設された道路である。

陳情第1号 主要地方道大津植木線バイパス道路及び御代志交差点改良の早期整備を求める要望書

重要路線である大津植木線バイパス道路の早期整備と恒常的な渋滞が発生する御代志交差点の早期改良を県に求めるために提出するものである。

総務常任委員会

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(財政課)

問 財政調整基金を繰り入れていくが、どこが不足して、繰り入れたのか。また、基金の残高は。

答 全体の歳出が決まり、それに対する補助等を差し引いた額が決まり、不足が生じた額が今回の繰り入れとなり、残高は、21億9648万8869円となります。

(市民課)

問 合志庁舎窓口運営費をなくした理由は。また、当初予算にて処理出来なかったのか。

答 以前は市民課の窓口と総合窓

口に業務が分かれていたが、市民窓口の体制になってから、総合窓口の仕事も全員で行っている。当初より戸籍住民基本台帳費に組み込むべきであった。

(まちづくり戦略室)

問 アニメ声優朗読会委託の負担割合は。

答 総額300万円程の内30万円を負担するもので、会場600席中250席を頂くものである。

(総務課)

問 東日本災害地へ、何を送り、何を補充するのか、その後の要請は。

答 非常用食料の、缶入りパン、カンパン、非常用お粥、非常用ご飯、と飲料水(3160リットル)を、県を通して送り、それに見合う分の補充をする。その他の物資として、県より、下着、Tシャツ類の依頼に対して、市民から協力頂き、県を通して送った。現在のところ、その他の、要請は無い。



合志庁舎 防災倉庫

文教常任委員会



平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(学校教育課)

問 理科支援員の報酬については。
答 理科支援員の勤務形態、条件については内示された予算に応じた使い道を任せられているので週に何時間という決まりはありません。

問 子どもエコセミナーの研修内容について。
答 小学校での研修内容は、ほとんど同じで、研修後は環境学習に役立ていく。
問 西合志第一小学校校改修事業について。
答 専門性の高い事業というより、竹林や雑木伐採後の処理のことを考えており、金額については学校施設整備予算の範囲内で執行する。



西合志第一小学校改修事業

(生涯学習課)

問 総合センター受付代替え事務員について。
答 総合センター受付事務員の育児休暇に係る人件費や生涯学習施設の管理人が年休、欠勤した場合に備えての代替え管理人の賃金です。

健康福祉常任委員会

平成23年度合志市一般会計 補正予算について

(健康づくり推進課)

問 検診機関に委託する大腸癌検診で県の補助金は分かったが、対象者が40歳・45歳・50歳・55歳・60歳です。40歳は老人保健に入るのか。
答 成人保健は、予算項目上全て老人保健に計上しております。
(子育て支援課)

問 児童保育費の防火管理者講習負担金60000円とは。
答 平成23年度限り待機児童解消対策として、一時保育施設・黒石原保育室を開所しています。設置者は市になり防火管理者設置が義務

付けられ
ています
が、今現
在子育て
支援課の
職員に防
火管理者
がいない
のでその
ための費
用です。
問 (高齢者支援課)
みどり館カラオケリース料11万8000円計上漏れということですが、条例改正に伴い前の委員会で老人憩の家とみどり館のカラ



一時保育施設・黒石原保育室

オケ料金の統一などについて指摘をしており、その中で計上漏れはおかしいのでは。
答 当初予算の編成の在り方や確認の方法に不備があったのではな
いかと反省しています。

意見 不備は不備ですが、

条例改正と共にあること
で簡単に需用費対応などしないように



みどり館カラオケ

に今後充分注意してほしい。

平成23年度合志市介護保険 特別会計補正予算

問 委託料を単純に使用料及び賃借料に組み替えて支障はないのか。
答 当初予算の時点では7月から更新なので前年度と同様な計上しかできなかつたのか。

答 サーバーについては5年前に購入しています。今回からリースで5年間の契約になり事業の支障はありません。本来なら、当初予算で使用料及び賃借料として計上しておくべきものでした。

平成23年第2回(6月)定例会
主な審議案件と議決結果

審議案件		議決結果
予算 4件	平成23年度合志市一般会計補正予算(第1号)ほか 3件	原案可決
その他 3件	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更ほか 2件	原案可決
同意 3件	合志市教育委員会委員の任命ほか 2件	原案同意
諮問 2件	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることほか 1件	適任とする
報告 3件	平成22年度合志市一般会計繰越明許費の報告ほか 2件	報告終了
請願 4件	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願ほか 3件	継続審査
陳情 1件	主要地方道大津植木線バイパス道路及び御代志交差点改良の早期整備を求める要望書	採 択
議員提出議案 6件	「公共学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書」の提出ほか 5件	原案可決

賛 否 表

● 議案第35号 平成23年度合志市水道事業会計補正予算(第1号)

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	西 嶋 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 暁	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春
議案第35号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○

※ 起立採決を行ったものに限ります。

○は賛成 ●は反対

平成23年第2回(5月)臨時会

賛 否 表

- 承認第2号 専決処分(平成22年度合志市一般会計補正予算(第11号))
- 承認第3号 専決処分(合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)
- 承認第4号 専決処分(合志市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定)

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	結 果	表 決 数	西 嶋 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 暁	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春	
承認第2号	承認	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認第3号	承認	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
承認第4号	承認	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 起立採決を行ったものに限ります。

○は賛成 ●は反対

合志市の節電対策は？

来海 恵子 議員



来海 合志市の庁舎および出先機関の現状と、これからの節電計画を伺います。

総務部長 平成22年度電気使用量は合志庁舎、西合志庁舎、ヴィーブル御代志市民センター、西合志図書館を含めて年間約4800万円、月平均では約400万円です。庁舎の使用電力の多くが、空調、照明、OA機器の順です。合志庁舎は前年度に実施した環境性の高い空調設備への改修等により、昨年度と比較して約33%削減しました。平成24年度は、西合志庁舎の空調設備を全面改修します。職員に、温度設定を28度にし、事務に支障の無い程度の照明の引き、OA機器の主電源の操作を指示しました。

来海 LED導入計画は、**総務部長** LEDへの交換を適宜進めていくこととしています。

来海 各課の環境リーダーが電源をこまめに切っているか等チェックシートに記入していましたが、自然と立ち消えになったのでは。

総務部長 シートは現在行っています。

せんが、環境リーダーに節電について指示しました。

来海 学校の節電の現状と工夫は、

教育部長 昨年、小中学校に設置した太陽光発電により、本年4月・5月の電力使用量は前年度月比35%減です。小中学校では、「学校版環境ISO」に取り組んでいます。児童・生徒を通じ各家庭に対して節電を呼びかけていきたい。

来海 市民への節電の呼びかけは、

総務部長 市民のみなさまに節電のお願いは、具体的に分かりやすく広報での周知を図りたい。

来海 クールビズ導入で、職員の服装や履物の規定は徹底しているか。

総務部長 クールビズは今年5月17日から実施しています。服装や上履きについても、市民のみなさまから見て非常に見苦しいというご意見もありますので、さらに指導するよう確認しました。



実効性の高い防災計画見直しを

坂本 武人 議員



坂本 東日本震災から得た教訓を活かす為にも、今後の合志市防災計画の見直しにおいて、基本計画下位に実行計画としての職員初動マニュアル策定と、その修得を目的とする定期訓練及び開催を提案するものだが、ご見解を賜りたい。



防災計画書

市長 学識経験者等の意見も十分踏まえた上で計画見直しをかけていく中で、ご提案の職員の初動については当然必要なものであり、速やかに体制を整えると同時に訓練の実施を検討したい。

坂本 震災で機能不全が指摘された各種災害協定機関との役割契約についても、今後は対象機関を増やすと共に相手方の支援供給能力及び物理的支援行動の把握が肝要であり、その実現に際し、定期的な総合連携訓練等の実施に向け、関係機関と政策協議を進めていただきたい。

市長 支援ネットワークの強化は今回の震災を見て痛感しているが、国、県、あるいは自衛隊等に救助要請を行なうこととしており、今後は総合的な防災対策の検証の中でこのことも検討していきたい。

節電対策の明確な根拠は

坂本 夏季に電力を必要とする製造業者、酪農家等が多数経済活動しておられる本市において、根拠のない無責任な節電は本市経済に多大な影響を及ぼしかねない。今夏に限らず慢性的な問題として慎重に考える必要があり、短絡的な対応及び言動は慎み、今後の節電対策方針を論議する場として節電対策会議の早急な設置を提案したいがご見解をいただきたい。

市長 節電に関しては、国が主体となり、地方が連携しながら考える問題であり、正確な分析に基づいた対策を心がけると同時に対策チームについても危機管理意識を持って適切に対処していく。

太陽光発電システム

尾方 洋直 議員



尾方 合志市の普及率は、補助金の予算はどのようになっていくか。

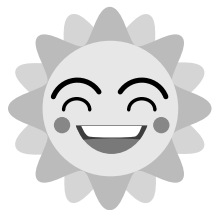
市民部長 市としては22年度217件、23年度190件の予算計上、24年度までの3か年計画で600件を見込んでいる。本市の一般家庭の設置状況は、22年度で1183件で6.7%になります。

尾方 国、県、市の補助金について

市民部長 国は23年度1キロワット4万8000円、県が一律5万円で本市は1キロワット当たり2万円、上限が8万円となっている。

尾方 他県でお子様ゼロ円システムがあり、初期設定費が9年間で支払う制度があるが本市で検討できないか。

市民部長 このシステムを利用すると補助制度が利用できません。本市で3・3キロワット設置すると国県市補助金27万4400円が受けられず、よって本市システムが得策と思います。



低炭素対策

尾方 国はCO₂削減対策として住宅エコポイント補助制度、また中小企業向けの1000万円まで補助金が受けられる制度などを市民に知らせているのか。

都市建設部長 国の制度は一定の成果は上がっていますが、市が独自で行なうことは考えていません。

尾方 国の補助金で市の負担ではない。広報で知らせる考えは。

都市建設部長 PRについては努めていく必要があります。

危険箇所改良

尾方 みずき台東の交差点の改良についてはどうなっているのか。

都市建設部長 現在、測量設計を終え補償物件の調査用地取得を行ない工事を行なうことになりました。

尾方 市道須屋陣ノ平線改良工事について、長年一方通行だが開通に向けて努力されているか。

都市建設部長 地主と今後も交渉を続けていきます。

安心安全な生活のために

木場田孝幸 議員



防火・防災に対する認識

木場田 各行政管理施設の防火防災対応と新規採用者への指導は。

総務部長 各施設に対し、防火管理者を配し、毎月1日を交通安全の日、10日を防火の日、20日を防災の日と定め、安全安心の日を、要綱で定めている。昨年は、合志庁舎にて防災訓練を行い、他の施設でも行っている。新規採用者への防災についての研修は把握していない。

各審議会等の人選と数の対応は

木場田 各審議会等の重複人事を無くせないか。

市長 人選について重ならないように、その都度指導している。

木場田 審議会等の数が多すぎではないか。統合できないか。

総務部長 検討したが現在のところ統合はできない。委員の選出にて配慮する。

市長 やってまいります。

市営住宅建設にPFI事業を

木場田 市財政難のおり、合志市の市営住宅建設・改修等にPFI事業を取り入れられないか。その他の事業にも。

都市建設部長 現在、市では市営住宅の建替え及び新築の計画はないが、今後、県内外のPFI事業の、事例などを検証しながら、将来的には、検討していかねばならない事項だと思えます。

市長 住宅とは違うが、まちづくりの中で、現在、PFI事業もその手法の一つとして、既に今、研究しています。



人権都市宣言を!!

松井美津子 議員



松井 近年の研究によりまして胃がんはピロリ菌の感染が原因とわかり、抗体検査と内視鏡検査を行なうことで胃がんを撲滅でき、治療費も削減できます。本市も検診転換を。

健康福祉部長 胃がん対策の検査や除菌については国の方からの動向を確認したい。

松井 平成20年、人権啓発教育基本計画策定から3年が過ぎた。人権意識の高いまちづくりのために独自の人権都市宣言をするべきです。

教育部長 基本計画に基づき様々な人権問題についての研究会や、学習会を実施し、出前人権講座などの取り組みを推進してきた。

市長 人権宣言が何のためのものか。目指すものはわかるし、前向きに考えている。ただ、セレモニーであっても意味はない。宣言をする、しないに関わらず、政策の中で優先度は高い。

松井 各公共施設におけるトイレの荷物かけについて伺います。

総務部長 庁舎トイレ内の荷物かけ

の位置が高いので女性の方々に利用しにくい環境なので現地調査を行い、改善を図りたい。

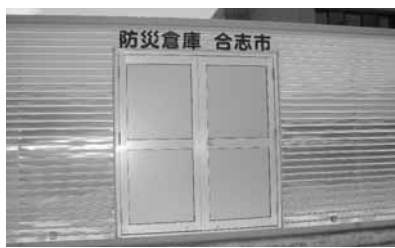
松井 防災対策について災害時、避難場所となる、小中学校の防災倉庫の設置について伺う。

総務部長 防災倉庫は多い方が良いと思うが現段階では現状維持を考えている。

松井 災害時、迅速に手配するための生活必需品について伺う。

総務部長 J A菊池、(株)ズミとの間に緊急時物資等の供給に関する協定を結んでいる。

松井 災害時、職員の命を守り、被災者にも提供できるので、自席の下に水2リットルの常備を。



防災倉庫

総務部長 貴重な提案として参考にさせていただきます。

電源確保も含めた 防災計画の見直しを!

神田 公司 議員



神田 この大震災から得た教訓は、**総務部長** 想定を超えた自然の脅威と、原子力発電の安全神話が崩れたという震災であったとまとめることができる。

神田 今回の最大の教訓は、各地で地域防災計画は当然つくっていたが、機能しなかった最大の原因は電源が喪失したことだ。これは東京電力の福島第一原発でも、津波で電源が喪失したのではなくて、東北電力から送電されている鉄塔が地震によって倒れて、それからメルトダウンという状況だ。最大の教訓はやはり電源の確保ではないかと思う。電源確保も含めたその防災計画の見直しについて議論すべきではないか。

総務部長 今の防災計画の中には、電源確保のことについては細かく記載していない。非常用電源の状況は、合志庁舎、西合志庁舎、ヴィーブル、ふれあい館には非常用の発電機を設置している。電源確保等々についての議論はしていない。

神田 非常電源の容量は。

総務部長 合志庁舎の非常用電源が36時間、西合志庁舎が5・7時間、ふれあい館が10時間。

神田 自主電源の確保について防災計画の中に反映させることについて、市長の考えは。
市長 もう一度見直したい。



津波被害にあった南三陸町防災センター

産業祭の反省と 今後について

木村 祐一 議員



木村 本市の農産物であるスイカをシンボルとして、農業の振興と市農産物に対する消費者意識の高揚並びに融和を推進することを目的に行なわれた。その評価は。

産業振興部長

一万人以上の来場者だったと総括しており、農政課が初めて産業祭として取り組んだ事業であり成功だったと内部で総括している。



スイカ祭り

木村 本市には様々な農産物、加工品等が生産されている。今後も産業祭を行なっていくか。恒例化されるのか。

産業振興部長 実行委員会で本年度は合併5周年ということで産業祭と夏祭りを行なうことになった。両方の祭りを総括した上で決めたい。

中小企業等振興基本条例の推進

木村 合志市中小企業等振興基本条

例が9月に制定された。その後の様な取り組みになっているのか。

産業振興部長 18名による合志中小企業等活性化会議を立ち上げ3回の会議を開いた。現在、産業実態調査を実施しており、今後結果を分析し具体的な振興施策を検討し24年度予算に反映できればと思っている。

木村 公共交通の充実により交通不便地域の解消、交通弱者の支援には功を奏していると思う。が、タクシ

ー業者等には客離れによる経営悪化が生じており、この条例からの整合性からみて「官が民を圧迫している」と感じる。コミュニティバス事業とタクシ

ー事業が両立できる状況が本来の姿であり、この条例の推進に繋がると感じるが。
政策部長 コミュニティバス事業とタクシ

市職員の人材育成と 積極的な活躍に期待する

上田 欣也 議員



上田 市職員の人材育成とやる気を引き出すための研修について伺う。

総務企画部長 平成18年の行政改革大綱、集中改革プランに基づいて、19年職員人事評価制度等検討委員会を設置、22年4月、合志市職員人材育成基本方針を策定した。



人材育成基本方針

上田 その基本方針はどの程度実現されているか訊ねる。

総務部長 職員の積極的な取り組みを引き出すために、ボランティア活動、市の広告動画の作成、また夏祭りについてもバーチャル市役所という形で、全体的な職員の協力を得て実施しているところだ。

上田 人事評価制度の導入について**総務部長** これまで試行期間だったが来年度導入で準備中だ。

上田 次に道路ネットワークについて伺う。宅地開発が市内のあちこちで続いているが、現在の渋滞状況はきちんと把握しているか。

都市建設部長 渋滞は国道県道の交差点であり、独自に把握している。

上田 渋滞を避けるために生活道路に入り込む車が増え危険である。大雨のときに冠水する道路も多い。開発の前に考えるべき問題ではないか。また公共交通の近隣市町とのネットワークはどうなっているか。

政策部長 熊本都市圏協議会の23年度事業で検討する。

上田 各種委員会、審議会等で何が話し合われているのか市民からわかりにくい。

市長 市民にとって本当に必要なテーマを協議する委員会等こそ求められている。前向きに検討する。

上田 現在どういう話が進んでいるかの情報公開がないと市民も活発な意見の出しようがない。改善を求め1年以上もかかった。スピード感を具体的な形にしてほしい。

選挙公約 実現のために

今村 直登 議員



東日本大震災とガス基地の安全性について

今村 東日本で発生した大震災で福島第一原発が爆発し大変な事態だ。安全神話をバラまいて、原発を推進してきたので、万が一の対策がとられていなかった。合志市には震度6以上の活断層が走っている。西部ガスからは、こういう事態に備えて、報告等はあるか。

総務部長 西部ガスとは、事故時の処置等の運用に関する申し合わせを締結している。覚書に従い4半期毎に報告をいただいている。

子どもの遊び場について

今村 子どもの遊び場について、何回も質問しているが進展はあっていないか。

都市建設部長 群区のグラウンドを子どもに限ってソフトボール等ができるよう許可をいただいています。

市長 まちづくり戦略室で子どもの遊び場について検討しています。

街灯について

今村 通学路の街灯があちこちで切れている。言っても対応が遅い。点検とかどうしているのか。

総務部長 特別に依頼して点検はしていない。職員が気付くとか、市民の方から通報してもらっている。

信号機やカーブミラー設置について

今村 泉ヶ丘体育館の近くと黒石原コンビニ（ポプラ）の信号が右折の矢印の信号がないために大変混雑する。竹迫の山隈酒店のところも信号機がなく危険だ。なんとかならないか。またカーブミラーの設置についてはどうなるのか。

総務部長 信号機は県の公安委員会に要望を出している。カーブミラーは地元の区長を通して申し込んでください。

ゴミ収集について

今村 高齢家庭のゴミ収集について自宅前収集はできないか。

市民部長 社会福祉協議会が月一回200円で収集作業を行っている。そこを利用していただきたい。

防災対策の 見直しを！

坂本 早苗 議員



坂本 防災行政無線の整備を検討すべきではないか。

総務部長 24年度からデジタル化の整備を計画している。放送内容の検討も必要と考えている。

坂本 学籍簿等のバックアップシステムは大丈夫か。

教育部長 学校ごとに耐火金庫で保管している。今後は教育委員会でもデータを保管する仕組みができないか検討したい。

坂本 遠距離の自治体と防災応援協定を結んではどうか。

総務部長 県内では各市町と協定を結んでいるが、県外については十分検討したい。

坂本 西部ガス熊本工場の安全管理についてどう対応するのか。

総務部長 今までは点検の報告を受けるだけだったが、今後は工場に出向き説明を聞き検証を行っていく。

EMの活用を！

坂本 プール掃除に環境にやさしいEMを使う学校が増えている。菊池

市ではNPO法人に依頼し、学校プールに全校EMが導入されている。合志市でも同様にできないか。

教育部長 合志市の小中学校でも使用している学校ではとても好評で、使用していない学校にもEMを奨励したい。菊池市の方式については調査・研究をしていきたい。

児童デイサービスの充実を

坂本 合志市の子育て環境は充実してきているが、障がい児の児童デイサービスなどは不十分。今後の対策は。

健康福祉部長 社協が新しい保育園を整備予定で、独自事業計画として障がい児の在宅サービスにも寄与できればと考えている。



プール清掃

TPP反対 農家・市民の声を国政に

松本 龍一 議員



TPPについて

松本 現在、政府が推進しようとしているTPPが締結された場合、本市の農業にどのような影響があるか。また、本市が政府にどのような対応をなされたか、お尋ねします。

産業振興部長 昨年の12月議会、今年の3月議会において質問があり、その繰り返しになりますが、本市の農業にとって壊滅的な打撃になると捉えています。特に米、畜産にとっては影響が大きいと思われる。そのため国に対して、拙速な参加を行わないよう、要望書を提出しております。現在、震災の影響で交渉が一時中断しているようですが、今後の国の動きを見ながら、農家と一緒に対応を考えていきたい。

県道熊本・大津線の未完成部分について

松本 県道熊本大津線は、合志中の重要な通学路であるが、その一部分（群区内、㈱テストテックから内田仏壇間30m）の工事が未完成となっ

ている。そのため早期完成をお願いしたい。

都市建設部長 再度、県に要望し協力して実現を目指したい。

子ども会について

松本 住民の地域活動が低下して来ている昨今、子ども会の活動も低下してはいないか。そのため、加入の促進や活動の活性化に努めるべきではないか。また、中高生のジュニアリーダーを育成してはどうか。

教育部長 子ども会育成連絡協議会と協力して、親や地域の理解を広めるよう努めていきたい。ジュニアリーダーの育成にも支援をしていきたいと思えます。



子ども会球技大会表彰式の様子

災害時の広域避難所 は大丈夫か

濱口 正曉 議員



濱口 東日本大震災を教訓として合志市の広域避難所の数、収容人数とその算定基準、耐震対策の現状は。

総務部長 市の防災計画書で定めているのは避難所として23か所、屋内の収容人員は1万7717人で、1人当たりのスペースは2㎡（畳1.2枚）、耐震対策は昭和56年建築基準法を満たしていない建物がか所ある。野々島公民館と黒石市民センター

で、この件については、西合志中央小学校、黒石体育館に変更した方が良いと考えられている。



黒石市民センター

濱口 今回の災害で避難所の吊り天井の危険性が浮上したが当市ではどうか。

総務部長 南ヶ丘小と西合志東小の2か所の改修が必要で、平成23、25年に計画している。その間の安全確認については専門家による診断を行

い善処するようにしたい。

市民の健康づくりについて

濱口 平成20年度から始まった特定検診は満3年を経過したが受診実績と保健指導の状況はどうか。

健康福祉部長 40〜74歳の対象者は8300〜8400名位で受診率は32〜33%と低迷している。しかし、保健指導を受ける方はかなり高い割合で活用されている。

濱口 当初、国の目標は平成24年度までに受診率を65%、メタボリックシンドローム者の減少率を10%と設定して、その達成率の良し、悪しで後期高齢者に対しての支援金（保険税）がマイナス10%、プラス10%と賦課される。その差額は1億円前後にもなり、国保者に対して厳しい状況である。その対応策は。

健康福祉部長 自分の健康は自分で守るという観点及び65%に達しなければ自身の保険税アップにつながるという事も踏まえて今後通知の在り方や説明会も含めて受診率アップの啓発に努めて行きたい。

合志庁舎付近の 4車線化を目指して

青木 照美 議員



青木 合志庁舎前の県道熊本・大津線と県道大津・西合志線は合志市の幹線道路です。近年は渋滞も甚だしい。スマートインターチェンジが設置され、御代志の交差点も改良される。また合志庁舎前は竹迫地区開発も計画されている。

渋滞の緩和と企業誘致のためには早期に県道の4車線化が必要と思われます。現況は農地が多く、地権者の理解も得られると思われず。市の考え方を伺います。



J T 前交差点改良

都市建設部長 熊本・大津線は現在JT前交差点付近を3車線の道路改良中であるが、今後も4車線化を県

に働きかけます。大津・西合志線の4車線のため県農業研究センターの用地取得について要望があった事を県に伝えます。また計画されている中九州高規格道路の熊本・大津間については、調査区間から整備区間への要望を優先していきます。

青木 上庄・幾久富・竹迫地区については、以前として歩道がありませぬ。生活する上で歩道の必要性を痛感しますが、市の考え方を伺います。

都市建設部長 県道の時代に拡幅できる部分は改良していますが、竹迫地区は住宅が建て込んでおり、バイパス建設により整備されました。歩道の必要性は認識していますが、多額な費用が必要であり、今のところ計画はありません。

青木 節電対策として「サマータイム」の導入予定はないか。

総務部長 東京都庁では住宅と接する部署、パスポートや建築確認申請等の窓口業務は、対象外となっています。市民と直接接する市役所での導入は、今後の課題とさせていただきます。

市民の命と暮らしを 大切にするまちづくりを

濱元幸一郎 議員



濱元 住民の福祉の増進を図るといふ自治体の役割と、災害から住民の命を守るという自治体の使命は一体のもの。災害の想定をしっかりと立て、備えや対策を取っておくことが重要。建物の耐震補強、各ご家庭での家具の転倒防止などの地震対策も必要だ。住宅の耐震化改修の促進を図り、住まいの安心を実現するためにも、合志市独自の耐震改修に対する補助制度を創設すべきだ。また、住宅リフォーム助成制度は住宅の一部補強工事にも活用できる。合わせたこの制度の創設を求めるかどうか。

都市建設部長 全国的に耐震改修が進んでいないことから、補助制度については国が推進を図っている。今後、建て替え及び耐震診断の状況を見ながら要綱の制定について検討していきたい。

中学3年生まで医療費無料化を

濱元 熊本県内では今「子どもの医療費は義務教育終了まで無料に」という流れが主流になりつつある。最

近では菊陽町でも中3まで無料化を実施。子育て支援日本一を掲げている合志市でも実施すべきだ。

健康福祉部長 民生費の増加は、市の財政規模を考えると普通建設費にも影響を及ぼしており、現時点ではサービスの拡大は困難な状況と考えている。

保育料の減免制度について

濱元 条例には保育料の減免に関するものがあるが、実行性のあるものにするためにも、収入の減少も加えた減免基準を定めた要綱を整備すべきだ。

健康福祉部長 様々なケースが考えられるので、細かな規定を作成するよりは、むしろ現在の規則に応じて個別に細かな相談に応じながら負担をしていたことと考えている。



平成23年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
8	30	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	5	月	本会議	質疑、委員会付託
	6	火	常任委員会	付託事件の審査
	7	水		
	8	木		
	9	金		
9	13	火	本会議	一般質問
	14	水		
	16	金		
	22	木	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は変更になる場合があります。

表紙のはなし



竹迫観音祭りは毎年7月10日に開催されています。ドランジャーをバックに下町子ども会のメンバーです。

お知らせ

次回の定例会は8月30日からの開催となります。
ぜひ、傍聴においでください。

議会広報調査
特別委員会

- 委員長 島田 敏春
- 副委員長 後藤 修一
- 委員 濱元幸一郎
- 委員 松本 龍一
- 委員 西島 隆博

暑い夏を市民みんなで元気に乗り越えたいものです。
今後とも広報委員一同で頑張っていきたいと思っております。お願ひございましたら、

おめでとうございます

議員在職
10年以上表彰



坂本早苗議員

丸内三千代議員

第87回全国市議会議長会定期総会において、坂本早苗議員、丸内三千代議員が議員在職10年以上表彰を受けました。

なお、引退された柏尾武二氏、吉廣満男氏にも同じく議員在職10年以上表彰が行なわれております。

議会だよりに対するご意見は

合志市議会事務局 電話 096-248-1111(代表)
248-2038(直通)
Fax 096-248-2047
メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

編集後記

長い梅雨も明け、真夏の暑い日が続いておりません。

今年の梅雨は雨も多く長かったようですが合志市においては被害も少なくひと安心したところ。湿度が高く毎日がいやな時期でもあり梅雨がなければなどと思いつくこともありますが、これを違った方向から考えてみると、この時期、雨が多いから日本の稲作文化も定着安定して日本の国家発展には大変貢献しているのではないだろうか。また合志の畑地灌がい用貯水池である龍門ダムの水も維持できるのか等、梅雨はいやですが必要でもあります。このように自然の摂理をうまく利用することも人間が生きていくためには重要なことだと思えます。しかしながら三月十日に発生した東日本大震災は東北沿岸部に壊滅的な被害を発生させ、さらには原発事故も併発させるなど自然の力の大きさと恐ろしさを見せつけられました。亡くなられた方々にお悔やみを申し上げ被災された方々にお見舞いと日も早い復興を心より願うものです。